

# 布野中だより

平成27年9月15日(火)  
第6号  
三次市立布野中学校

## 学力調査について

今年度の【広島県「基礎・基本」定着状況調査】、及び【全国学力・学習状況調査】の結果が公表されました。その結果をお知らせします。

### ○【広島県「基礎・基本」定着状況調査】(対象；2年生，6月に実施)

<教科全体の平均通過率(%)>

	国語	数学	理科	英語
布野中平均	82.3	75.2	58.8	85.1
三次市平均	74.3	70.9	50.5	69.8
広島県平均	73.6	70.4	50.2	68.2

<本校の平均通過率と広島県の平均通過率との比較>

	相対的に本校の平均通過率が高い主な項目	相対的に本校の平均通過率が低い主な項目
国語	・共通点と相違点の聞き取り ・要旨の把握 ・主語・述語の関係	・登場人物の心情の把握 ・情報の取り出し・根拠を明確にした記述
数学	・四則の計算等数学的な技能 ・関数に係る反比例の式の理解とグラフ上にある点の意味についての理解	・関数の比例のグラフの理解と問題解決の方法の説明 ・資料の活用に係る情報の適切な選択
理科	・気体の捕集方法についての理解 ・凸レンズを通った光の進み方と実像ができる位置との関係についての作図 ・火山活動があったことの根拠の理解	・被子植物と裸子植物の花のつくりのちがい ・実験結果を分析・解釈した考察 ・圧力の大きさの求め方の理解と日常生活における圧力に関する事象の説明
英語	・自分の考えや気持ちが読み手に正しく伝わるように書くこと ・会話の場面に応じた適切な文章やつながりのある英文を書くこと	・文と文のつながりに注意して疑問詞を用いた質問を書くこと ・まとまりのある一貫した英語の文章を書くこと ・辞書の使い方

### ○【全国学力・学習状況調査】(対象；3年生，4月に実施)

<教科全体の平均正答率(%)>

	国語A(知識)	国語B(活用)	数学A(知識)	数学B(活用)	理科
布野中平均	84.2	75.6	69.2	45.3	56.0
広島県平均	76.5	67.0	64.6	42.7	52.2
全国平均	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

<本校の平均正答率と広島県の平均正答率との比較>

	相対的に本校の平均正答率が高い主な項目	相対的に本校の平均正答率が低い主な項目
国語A	・書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書く。 ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。	・伝えたい事実を明確に書く。 ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。

国語B	・目的に応じて文章を要約する。 ・表現の工夫について自分の考えをもつ。	・資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く。 ・複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く。
数学A	・直角三角形の斜辺を軸とする回転によって構成される空間図形の形を理解している。 ・等式を目的に応じて変形することができる。 ・垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している。	・数量の関係を文字式に表すこと。 ・時間と道のりの関係を表すグラフについて、グラフの傾きが速さを表すことを理解している。 ・具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることのできる。
数学B	・平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることができる。 ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。	・事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる。 ・与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断できる。
理科	・グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取ることができる。 ・見いだした問題を基に、適切な課題を設定することができる。	・日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することができる。

両調査から、本校の基礎的な学力はおおむね定着しつつあると考えていますが、資料や情報を活用する問題に対して課題がある結果となっています。

今後も、正答率が低かった領域や項目等を中心に分析し、授業改善をおこないながら一層の学力の定着を図ってまいります。

## 生活と学習について

両調査で行われた「生活と学習」についてお知らせします。

【「基礎・基本」定着状況調査】では、「自分の住んでいる地域のことが好きです」(肯定的回答；本校100%，県81.0%)、「地域や子供会などの行事に参加しています」(肯定的回答；本校92.4%，県48.2%)、「自分には良いところがあります」(肯定的回答；本校84.7%，県69.0%)などは、県平均を上回っていました。一方で、「自分で勉強の計画を立てています」(否定的回答；本校46.2%，県49.4%)、「授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます」(否定的回答；本校46.2%，県43.8%)、「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいです」(否定的回答；本校53.9%，県40.0%)という結果でした。

また、平日に2時間以上家庭学習を行っている生徒が60.0%いる反面、平日に2時間以上テレビを見たりゲームをしている生徒が61.6%おり、家庭での過ごし方に課題が見られました。

【全国学力・学習状況調査】では、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」(肯定的回答；本校100%，県95.5%)、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」(肯定的回答；本校80.0%，県48.4%)、「家で学校の授業の復習をしていますか」(肯定的回答；本校70.0%，県56.4%)、「家で学校の授業の予習をしていますか」(肯定的回答；本校60.0%，県36.1%)などは県平均を上回っていました。一方で、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか」や「自分には良いところがあると思いますか」の問いでは、50%の生徒が否定的な回答でした。

また、平日に2時間以上家庭学習を行っている生徒が60%いる反面、平日に2時間以上テレビを見ている生徒が60.0%，1時間以上テレビゲームをしている生徒が50.0，そして、携帯電話で1時間以上メールやインターネットを行っている生徒が50.0%おり、家庭での過ごし方に課題が見られました。

これらの調査結果をいかしながら、学力向上と自己効力感の醸成やキャリア教育の一層の充実を図ってまいります。



講師を招いて短歌の学習



地域行事に参加